

瀋陽駐在員事務所



商業施設のクリスマス期間(22～25日)60時間営業の広告



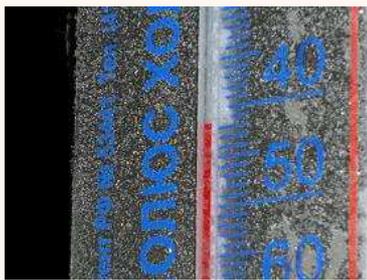
平安果

中国のクリスマス

いよいよ12月に入りました。中国東北地方では真冬に入り、身を凍えさせながらも、街中は歳末商戦で賑っています。ここ数年で、クリスマスの風習が中国にも受け入れられてきました。中国で育ちつつある「クリスマス文化」は、プレゼントとパーティーが中心です。特にクリスマスイブには多くの商業施設が24時間営業し、若者達で賑います。また、若者達の間では、ラッピングされたリンゴをクリスマスにプレゼントすることが流行るようになりました。その理由は、中国語の「リンゴ」と「クリスマスイブ」の発音が似ているからです。中国語ではクリスマスイブのことを「平安夜(ピンアンイエー)」と言い、リンゴは「苹果(ピイングォ)」と言います。このリンゴの「苹」とクリスマスイブの「平」が同じ発音なのです。クリスマスイブにリンゴを、「平安果(ピンアングォ)」という名称にし、贈り物にして、平安でありますようにと願っているそうです。クリスマスは年末商戦の前哨戦で、その後の春節(旧正月)が年末商戦のピークになります。2013年春節期間中の全国小売売上高が5,390億元(約8兆円)であるという中国商務省の発表がありましたが、来年2014年、春節期間中の売上高はいくらになるか注目していきたいと思います。

張 璐

ユジノサハリンスク駐在員事務所



極寒(-42°C)の街、ヤクーツク市



チャプチョク村の生徒たち

極寒の地、シベリア出張

今回の出張先はロシア極東のサハ共和国(別名ヤクーチャー)。ロシア生活に慣れたとは言え、極寒の地、シベリアに一人で出張するのはとても不安でした。サハリンから飛行機で向かい、ハバロフスクで乗継ぎして、首都ヤクーツクに着いた時間が午前0時、既にマイナス40°Cと厳しい寒さでした。

しかし、気温とは打って変わり、日本人の私を出迎えていただいた民間企業、政府関係者、地元金融機関、村落の人々は全員が暖かい“お・も・て・な・し”で迎えていただきました。都市から50km離れた村落を訪問。そして、村の唯一の学校を訪問。この村に日本人が訪れたのは私が初めてとのことで、先生、生徒から大歓迎を受けました。全生徒を集めてディスカッション。子供ながらに日本の高い技術力に強い関心を持っていることに驚かされました。記念撮影後は子供達からサイン攻めにあうなど、日本人であることに誇りを持つことが出来ました。

道民にはまだまだ知られていないサハ共和国。ここにはビジネスチャンスがあると同時に、極寒という自然環境、凍った魚(ルイベ)、馬肉を好んで食べる習慣など、一大観光地に変貌する可能性も十分あることを強く感じました。

三上 訓人

カシコン銀行

■人気上昇中の都市 世界トップ10

- 1 ハバナ/キューバ
- 2 ラ フォルトゥーナ デ サン カルロス/コスタリカ
- 3 カトマンズ/ネパール連邦民主共和国
- 4 エルサレム/イスラエル
- 5 クスコ/ペルー
- 6 アンバーgris キー/ベリーズ
- 7 札幌市/日本
- 8 ハノイ/ベトナム
- 9 コラレホ/スペイン
- 10 フォルタレザ/ブラジル

■人気上昇中の都市 アジアトップ10

- 1 カトマンズ/ネパール連邦民主共和国
- 2 札幌市/日本
- 3 ハノイ/ベトナム
- 4 シェム リアップ/カンボジア
- 5 ホアヒン/タイ
- 6 コタ キナバル/マレーシア
- 7 サヌール/インドネシア
- 8 マカオ/中国
- 9 ジャイプール/インド
- 10 釜山/韓国

人気上昇中の観光地～世界トップ10、アジアトップ10発表

人気上昇中の観光地2013発表

世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」は今年、人気上昇中の観光地～世界トップ10、アジアトップ10等を発表しました（前年と比較して口コミでの評価等注目度が上昇した観光地をランキングしたもの）。日本からは札幌市が世界で7位、アジアで2位に入りました。

日本全体で見ても累計訪日外客数が今年 20 日には初の年間 1 千万人を超え、記念すべき 1 千万人目の観光客としてタイ人夫妻に記念品が贈られました。増加要因の一つに東南アジア諸国からの観光客増加が挙げられます。特にタイ人訪日客数は 11 月までで 397,600 人と前年比 69.1%増（日本政府観光局調べ）と非常に伸びております。また、タイ国内調査機関によると「日本の都道府県名 WEB 検索ランキング」では東京を抑え、北海道が堂々の 1 位となりました。タイ人の北海道旅行客は確実に増えており、今後はリピーターを増やすことが重要です。

一方で、訪タイ観光客は 2000 年代から継続して増えており、最近では年間 2,000 万人以上の観光客がタイを訪れます。この点でタイに学ぶことは多く、街並みやリゾート地の魅力に加え、外国人観光客を受け入れる体制が充実（多通貨両替所、Wi-Fi 環境、言語表示等、ムスリムへの対応）、またタイ人自体が外国人を歓迎する陽気な雰囲気があります。タイの良い所を学びつつ、タイ人観光客を増やしていきたいものです。

土屋 裕亮